



いつもお世話になっております。今月号の事務所だよりをお届けしますので、ご査収下さいますようお願い申し上げます。

TPPについて考えてみます。

トランプ次期米大統領が環太平洋連携協定(TPP)の枠組みから離脱するとのメッセージを出しました。11月の国会は、蓮舫(れんほう)議員がものすごい形相で、どうするんだと安倍総理に食ってかかっていました。

TPPとは、日本語で「**環太平洋戦略的経済連携協定**」を言います。

2015年10月のアトランタ閣僚会合において、大筋合意に至りました。TPP協定の加盟国はオーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国及びベトナムの合計12か国です。

1. TPPの目的は？

それぞれの国で設定していた**関税**をなくしてもっと自由に貿易をし、経済発展を促すことを目的としています。

また高い水準の野心的で、包括的なバランスの取れた協定を目指し交渉が進められてきた経済連携協定です。今後、各国と連携しつつ協定の早期署名・発効を目指していきます。

2. 関税とは？

自分の国の産業を守るために、他国からの輸入品に税金を掛けて簡単に輸入品が売れてしまわないようにする税のことです。

日本の関税収入は約1兆1000億円で、近年一般会計予算における歳入の1%前後です。また国税収入の2%程度です。結構な金額です。

3. 日本がTPPに参加するメリットとは？

関税の撤廃により貿易の自由化が進み日本製品の輸出額が増大する。

整備・貿易障壁の撤廃により、大手製造業企業にとっては企業内貿易が効率化し、利益が増える。

鎖国状態から脱しグローバル化を加速させることにより、GDPが10年間で2.7兆円年間2700億円増加する見込み。

経済産業省の試算では、TPPに参加しないと雇用が81万人減る？

4. 日本がTPPに参加するデメリットは？

海外の安価な商品が流入することによってデフレを引き起こす可能性がある。

関税の撤廃により米国などから安い農作物(特に米)が流入し、日本の農業に大きなダメージを与える。

食品添加物・遺伝子組み換え食品・残留農薬などの規制緩和により、食の安全が脅かされる。

医療保険の自由化・混合診療の解禁により、国保制度の圧迫や医療格差が広がると危惧されている。